PRI Principles for Responsible Investment

気候変動に関するPRIの取り組み

2017年11月29日

PRI　日本ネットワーク議長　八木　博一

UNEP FINANCE INITIATIVE | United Nations Global Compact

An investor initiative in partnership with UNEP Finance Initiative and UN Global Compact

PRI Principles for Responsible Investment

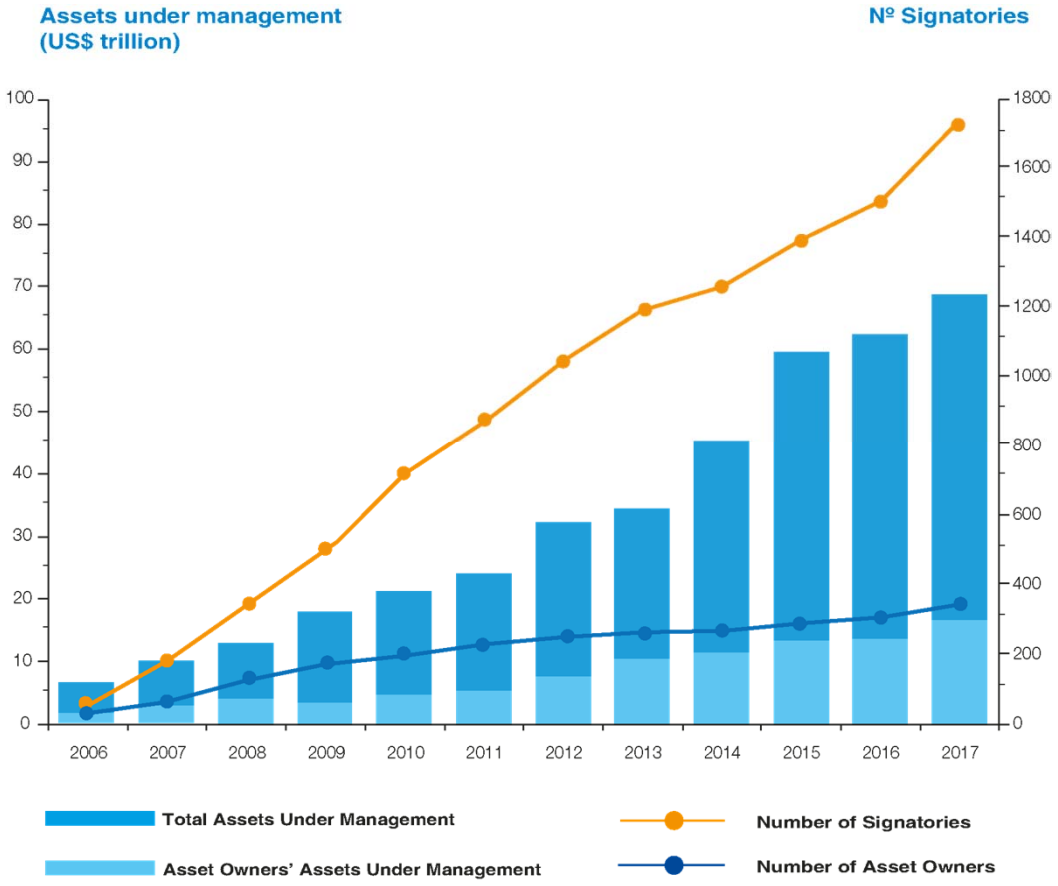
責任投資原則(PRI) は

機関投資家が長期的に投資することを促進する枠組み

投資の意思決定プロセスに、環境、社会、企業統治(ESG)問題を考慮に入れることで価値を変える原動力となる

原則に賛同署名する機関は世界で1700を超え、その運用資産は68兆ドル以上
国連が支援する取り組み

2017年署名機関数の推移



** As of 1 April 2017*

Walter Scott Global Investment Management

Norfund

Colonial First State

SFERS San Francisco Employees' Retirement System

E FUND MANAGEMENT 易方達資產管理

inarCASSA

LBBW Asset Management

PT ASABRI (PERSERO)

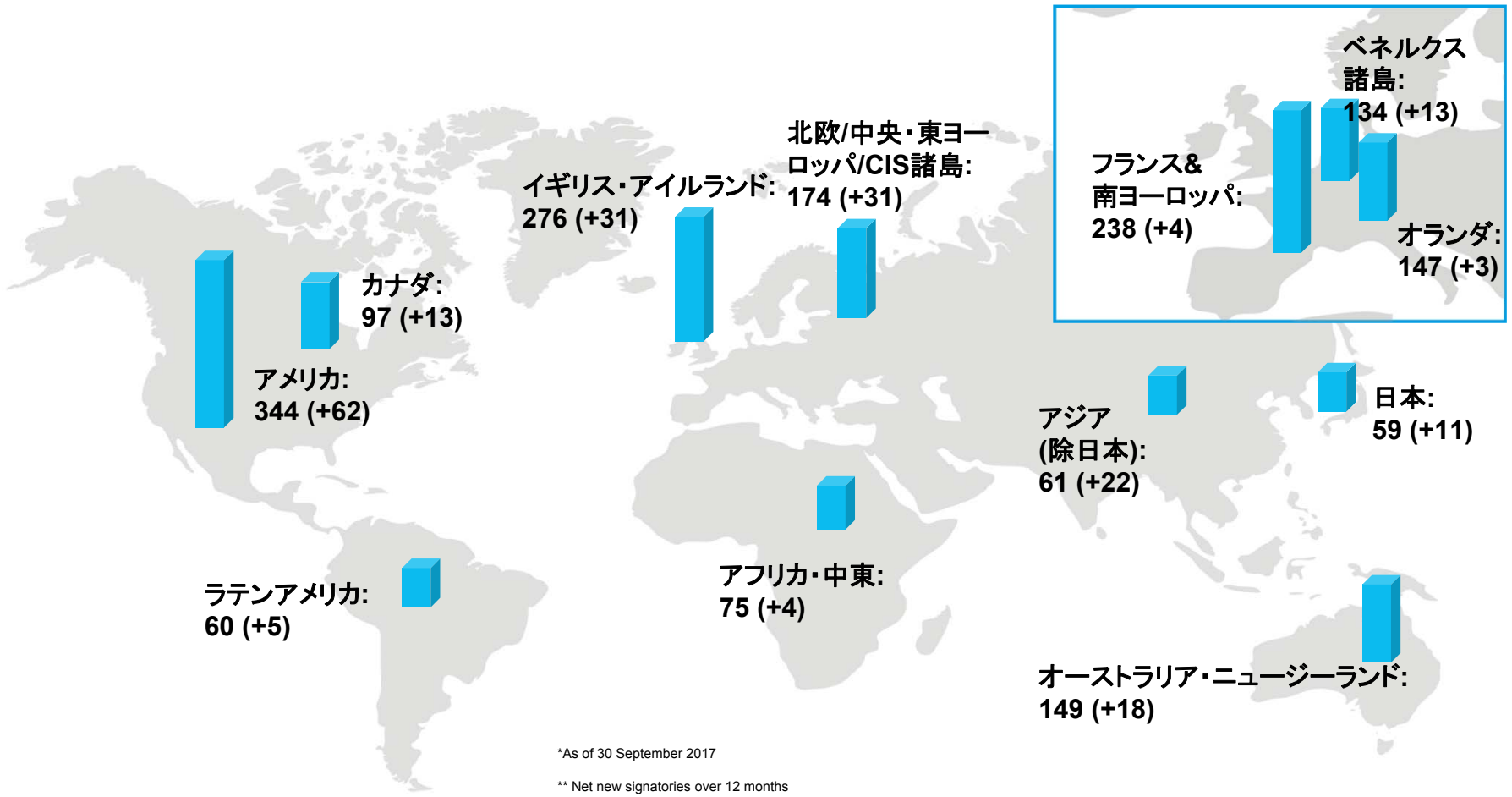
10月1日時点

- ✓ 106 新規署名機関 (ネット)
- ✓ 20 新規アセット・オーナー

PRI Principles for Responsible Investment

世界中の1800以上の投資家

- 責任投資原則に署名



*As of 30 September 2017

** Net new signatories over 12 months

PRI Principles for Responsible Investment

日本での責任投資参加者の増加

- 日本のPRI署名アセットオーナー（資産保有者）の変遷

	2015年5月	2017年10月
AO署名機関数	5社	16社
AO管理運用資産合計	26兆円	420兆円

11AOの増加：5生保、1損保、2年金基金、1大学、1開発銀行、1福祉金融機関

- 日本のアセットオーナーの増加に伴って、日本市場でのESG投資の拡大

その1：日系資産運用会社、サービスプロバイダーの署名増加
日本の署名機関数59機関 （2017年10月31日時点）

その2：国際署名機関の日本支店新規開設、及び担当者増加
アジアの拠点を東京にする欧米の機関投資家が急増

向こう10年間のビジョン

今後10年間の枠組み

責任ある投資家
- アセットオーナーの影響力を強化
- 投資家によるESG課題の組み込みを サポート
- アクティブ・オーナーシップのコミュ ニティを育成
- 説明責任強化のためにリーダーシッ プを発揮
- 責任ある投資家への啓蒙活動

持続可能な市場
- 持続可能な金融システムへの障壁への挑戦
- 市場に意味のあるデータの普及

真の豊かな社会
- 気候変動に対する対策の支持
- SDGSが実現される世界を目指す

真の豊かな世界へ

気候変動対策への支持

PRIの気候変動に関する取り組み

- **投資家の行動と実践のツール**
  - 2℃シナリオからの乖離に関するリポートとワークショップ
  - PRIとベーカー＆マッケンジーによる国ごとの気候変動関連の財務情報開示リビュー

- **気候変動関連の財務情報開示とFSBタスクフォース（TCFD）**
  - PRI議長がタスクフォースに参画し、署名機関からの意見を反映
  - 最終提言は2017年6月に発表
  - PRIはTCFDの実施を約束（任意での報告）

- **パリ協定と各国政府への働きかけ**
  - 米国の撤退に対する政府への対応：パリ協定は "不可逆的“
  - G20各国の政府関係者への書簡：　約400人の投資家が支援AUM 22兆米ドル）
  - 中国のグリーン・ファイナンス・リーダーシップにPRIは貢献

TCFD背景

・金融安定理事会（FSB）は、
2015年12月4日に

- 「**情報に基づいた投資・貸付・保険引受の決定を支援**」し、
- 「**金融セクターに炭素関連資産**がどのくらいあり、金融システムが**気候関連リスクにどのくらい晒されているか**について、利害関係者が**よりよく理解**」できるような

• より効果的な気候関連の情報開示のための提言を作成するために気候関連財務情報開示に関するタスクフォース（TCFD）を発足。

業界主導 かつ地理的に多様なタスクフォース

マイケル・ブルームバーグ氏率いる、資金提供者、保険会社、大手非金融企業、会計・コンサルティング事務所、信用格付機関など世界中のさまざまな組織から集まった32名の世界を代表するメンバーにより構成。

TCFD: 情報開示の提言

タスクフォースは、各業種や各国・各地域の組織に**広く適用可能**な気候関連財務情報開示に関する**4つの提言**を策定。

提言は組織運営における中核的要素である4つのテーマを中心に構成されている。

ガバナンス
気候関連リスク及び機会に関する当該組織のガバナンス

戦略
当該組織のビジネス・戦略・財務計画に対する気候関連リスク及び機会の実際の及び潜在的影響

リスク管理
当該組織が気候関連リスクを識別・評価・管理するために用いるプロセス

指標及び目標
気候関連リスク及び機会を評価・管理するのに使用する指標及び目標

TCFD: PRIとベーカー＆マッケンジーによる国ごとの気候変動関連の財務情報開示リビュー

日本:よりよい気候変動情報開示に向け推奨される3つの実践的取り組み

PRIからの提案

- 政府：日本政府、環境省、金融庁がTCFDの最終提言を支持すること。
- 東京証券取引所：既存のコーポレート・ガバナンス指針の中でTCFD提言に言及すること。
- 企業及び投資家はTCFDの提言を採用すること。

PRIはFSBタスクフォース投資家プロジェクトを立ち上げる。

- 企業に対する投資家エンゲージメントを行う。
- 気候リスク及び機会を特定するための実用的なツールを投資家に提供する。
- PRIのレポーティング枠組みがTCFDに沿ったものになるようにする。

真の豊かな世界へ

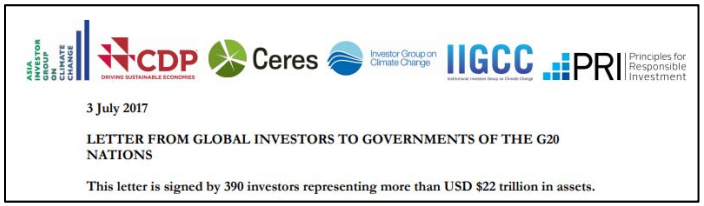
PRIの重点分野（2017～18年）

PRI署名機関がESG問題の筆頭に挙げているのは気候変動です。

- **環境整備：**
  各国によるパリ協定の実施
- **供給：**
  国家によるグリーンインフラ向け資金調達計画と利益が出るプロジェクト
- **データとリスク分析：**
  シナリオ分析を含むFSBタスクフォースの実施
- **投資家のガバナンス：**
  PRIによる持続可能金融システムのプロジェクト
- **積極的な株主行動：**
  気候、水、森林伐採、公正な移行に関する投資家の企業への関与

PRIの グリーン・ファイナンス への取り組み

- PRIの提言がG20グリーンファイナンス総合報告書で採択
- 2107年中国人民銀行と中国の投資家の教育
- 実践的な投資家向けガイダンス　－　グリーニング・エクイティ、大気汚染、カーボン・フットプリント債券
- ポリシーでの協働: PRIが携わっているのは、英国 Green Finance Task Force, 英国・中国 Green Finance Task Force, Financing for Tomorrow (フランス), Sustainable Finance Hub (ドイツ) and EU High-Level Expert Group, FSB Task Force on Climate-related Financial Disclosure等



Climate Action 100+

ビジネスの変革を促す投資家

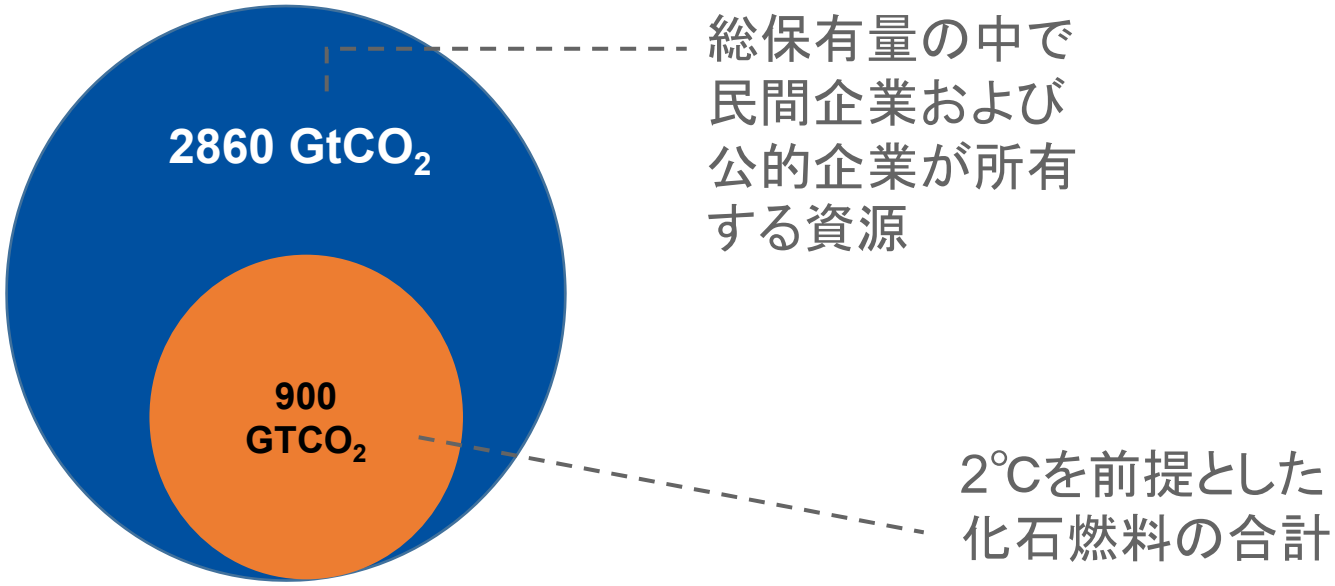
- Climate Action100+は、世界での温室効果ガスの排出量が多い企業100社以上に排出量を抑制、気候関連の財務情報の開示、気候変動に関するガバナンスの改善などの働きかけを行う新しい5年間の投資家イニシアチブ

- 2014年／2015年の24兆USドルを運用する409の世界中の投資家の声明に掲げられたコミットメントを踏まえて形成：

“機関投資家として、フィデューシャリー・デューティーの実践と一貫し、リスクを最小限にし、開示し、気候変動とポリシーによってもたらされる機会を最大化する投資先企業に働きかけする。”

座礁資産：不要な石炭、石油、天然ガスへの投資

2013年、Carbon Trackerによると、地球温暖化が2℃を超えないようにする場合には、上場会社が保有している石炭、石油、ガスの60～80%は「燃やすことはできない」状況であると発表



モントリオール・カーボン・プレッジ

気候変動に関する投資家の行動を支援するPRI主導のイニシアチブ

- 投資家がポートフォリオのカーボンフットプリントを測定し開示
- ポートフォリオの一部または全部に適用可能
- クリスティアナ・フィゲレスのサポートで2014年のPRI in Personで発足
- COP21で約120の投資家（10兆米ドル）が支援
- COP 21のプライベート・ファイナンス・フォーカス・イベントで発表
- PRI署名機関および非署名機関が参画可 www.montrealpledge.org

モントリオール・カーボン・プレッジ署名機関（例）

HESTA (Australia)
Bâtirente (Canada)
AXA Group (France)
BNP Paribas Investment Partners (France)
PGGM Investments (Netherlands)
AP4 (Sweden)
Nordea (Sweden)
Alliance Trust (UK)
Environment Agency Pension Fund (UK)
Old Mutual Group (South Africa/ UK)
HSBC Global Asset Management (UK)
CalPERS (USA)
University of California (USA)
セコム企業年金基金 (日本)
三菱商事・ユービーエス・リアルティ（日本）
アセットマネジメントOne (日本)
損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント（日本）

ESG エンゲージメント

PRIがコーディネートしているエンゲージメント

予定されている エンゲージメント	• TCFD提言に沿った開示促進 (2018年初め) • 石油および天然ガスからの移行(2018年初め) • 腐敗・汚職防止(2018年初め) • 水リスク フェーズ 2 (2018年初め)
現在参加可能	• Climate Action 100+ (2017年10月) • サイバーセキュリティ • 法人税の責任 • 森林破壊
継続中 エンゲージメント	• 持続可能なパーム油 • メタン • 採掘業における人権 • 農業サプライチェーンでの労働環境

For more information contact collaborations@unpri.org

* As at October 1 2017

PRI Principles for Responsible Investment

真の豊かな世界へ
SDGSを実現させるための投資家の取り組み

2016年、今後10年間の目標について署名機関と協議した結果、アセット・オーナーの50%以上がSDGsが投資家にとって適切であると考えており、PRI理事会はSDGsをPRIの使命や原則の序文の中心に据えることに決めた。

PRIの主なSDGsの取り組み:

SDGsの活動マップの作成：世界的なSDGsにおけるPRIの役割を定義し、他の関連機関との協力および貢献を求める

SDGs投資のケース：投資家がSDGsに注目するのかを明確にする

投資戦略、投資判断にSDGsの統合に関する投資実務ガイダンスを提供する（原則１）

活動的な所有者になり、所有方針と所有慣行にSDGsの課題を組み入れる（原則２）

SDGsのパフォーマンスの測定と報告：企業や投資対象の主体（原則３）および投資家（原則６）に対してESGおよびSDGsについて適切な開示を求める